

# 2015(平成27)年7~9月期四半期別GDP速報 (1次速報値)

Quarterly Estimates of GDP: Jul. ~ Sep. 2015 (The First Preliminary Estimates)

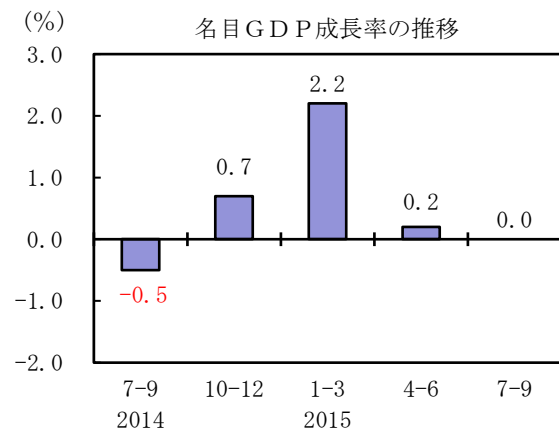
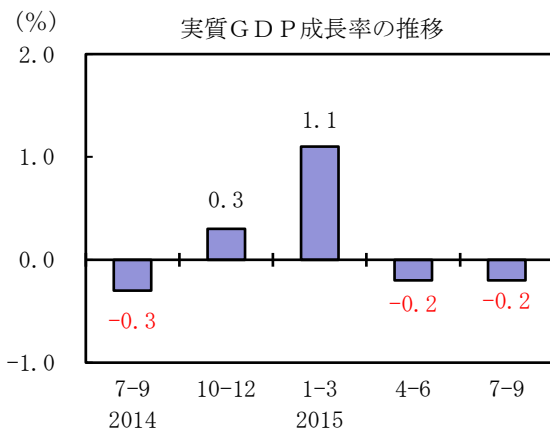
平成27年11月16日  
内閣府経済社会総合研究所  
国民経済計算部

## I. 国内総生産(支出側)及び各需要項目

### 1. ポイント

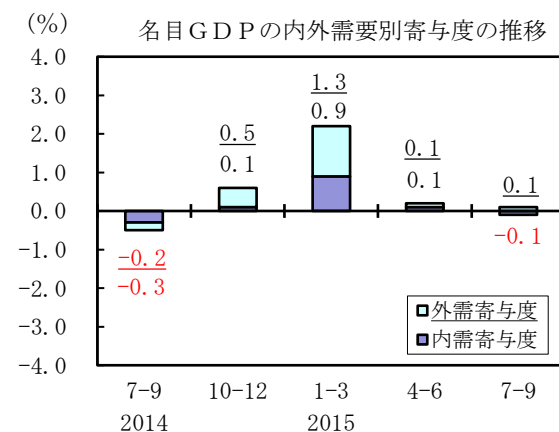
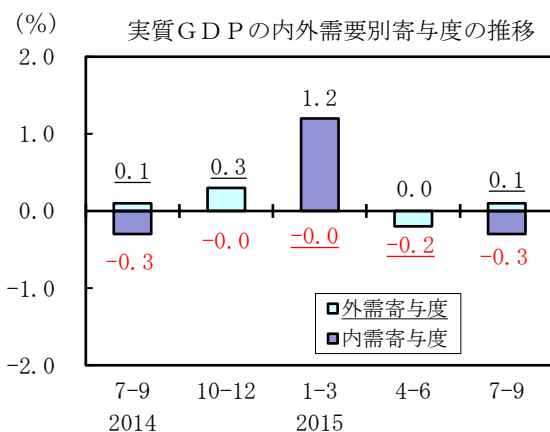
#### [1] GDP成長率(季節調整済前期比)

2015年7~9月期の実質GDP(国内総生産・2005暦年連鎖価格)の成長率は、▲0.2%(年率▲0.8%)となった。また、名目GDPの成長率は、0.0%(年率0.1%)となった。



#### [2] GDPの内外需別の寄与度

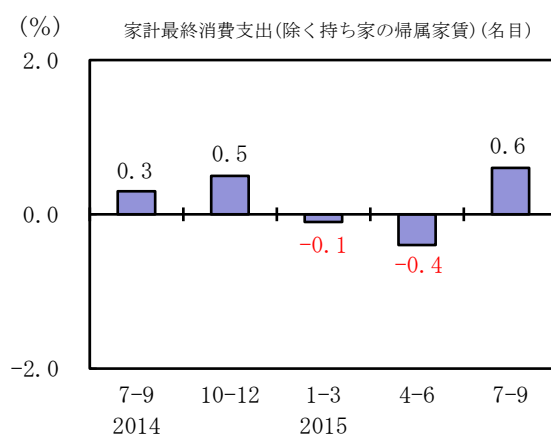
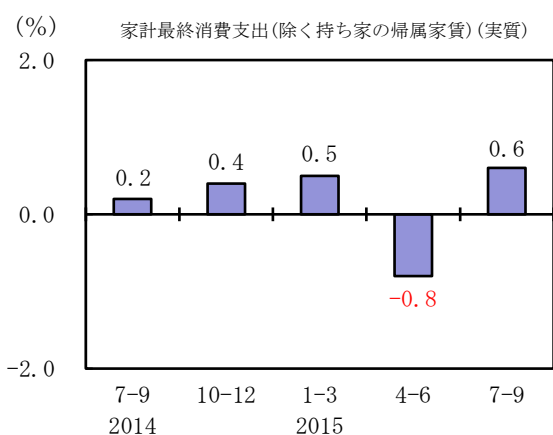
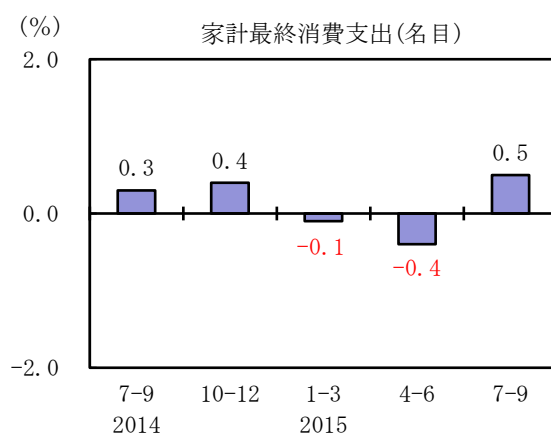
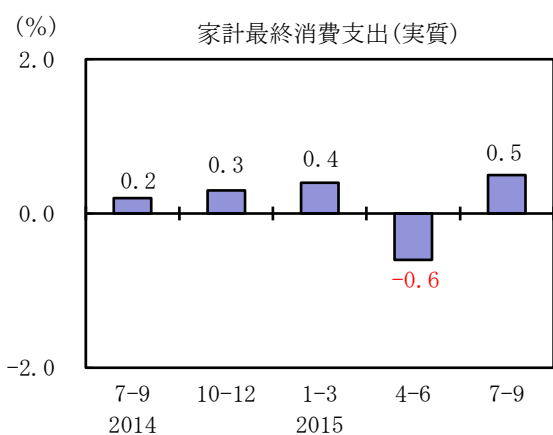
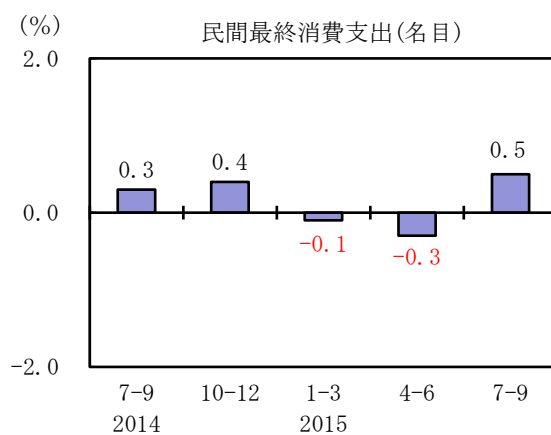
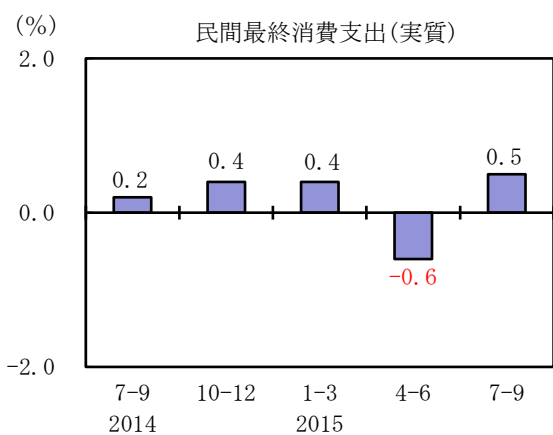
GDP成長率のうち、どの需要がGDPをどれだけ増加させたかを示す寄与度で見ると、実質は国内需要(内需)が▲0.3%、財貨・サービスの純輸出(輸出-輸入)が0.1%となった。また、名目は国内需要(内需)が▲0.1%、財貨・サービスの純輸出(輸出-輸入)が0.1%となった。



### [3] 需要項目別の動向（季節調整済前期比）

#### (1) 民間需要の動向

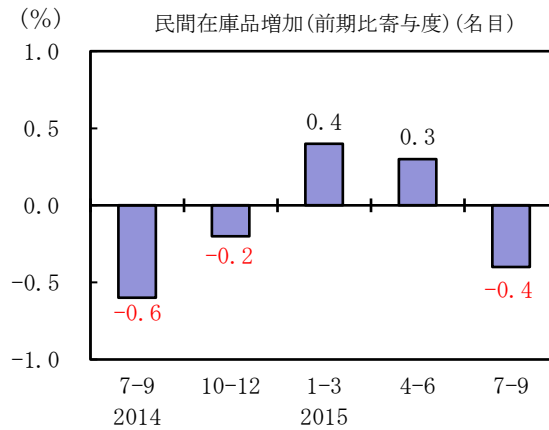
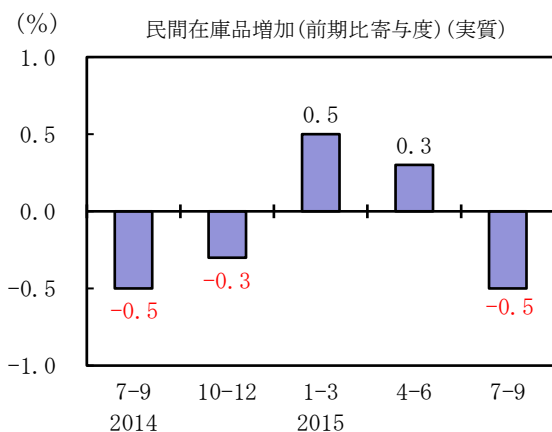
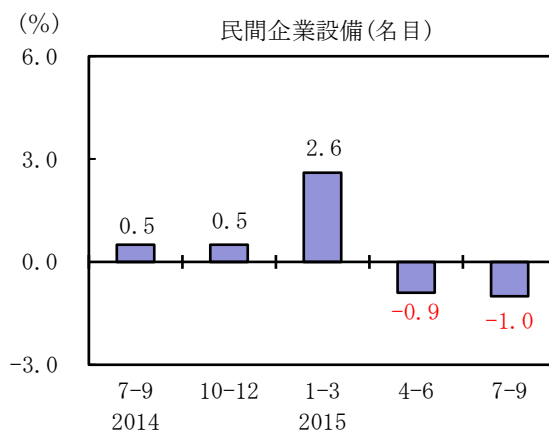
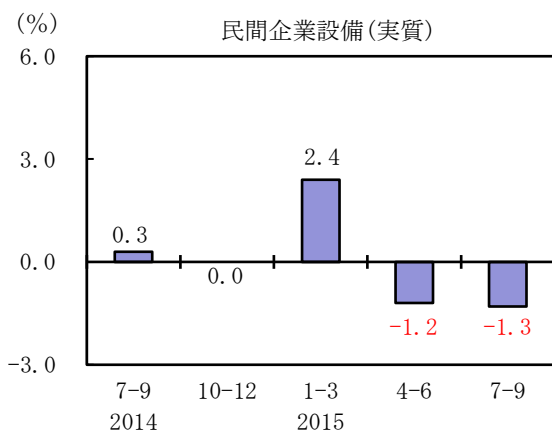
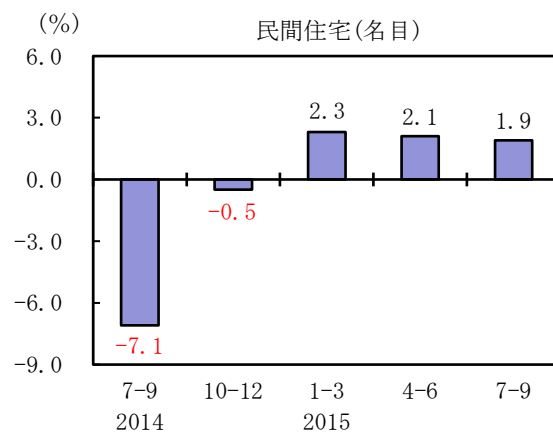
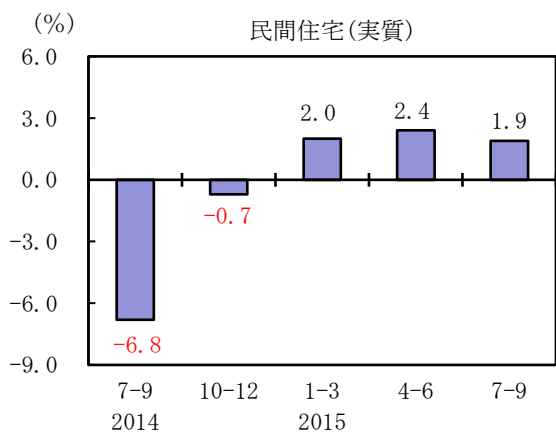
民間最終消費支出は、実質0.5%（4～6月期は▲0.6%）、名目0.5%（4～6月期は▲0.3%）となった。そのうち、家計最終消費支出は、実質0.5%（4～6月期は▲0.6%）、名目0.5%（4～6月期は▲0.4%）となった。家計最終消費支出（除く持ち家の帰属家賃）は、実質0.6%（4～6月期は▲0.8%）、名目0.6%（4～6月期は▲0.4%）となった。



民間住宅は、実質1.9%（4～6月期は2.4%）、名目1.9%（4～6月期は2.1%）となった。

民間企業設備は、実質▲1.3%（4～6月期は▲1.2%）、名目▲1.0%（4～6月期は▲0.9%）となった。

民間在庫品増加の成長率に対する寄与度は、実質▲0.5%（4～6月期の寄与度は0.3%）、名目▲0.4%（4～6月期の寄与度は0.3%）となった。

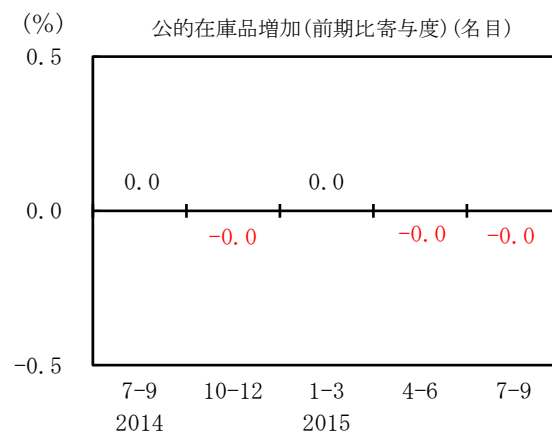
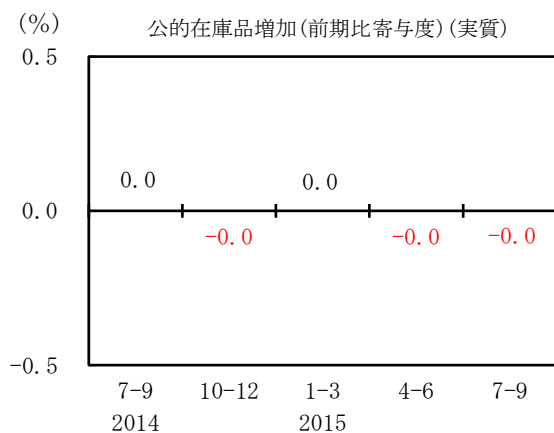
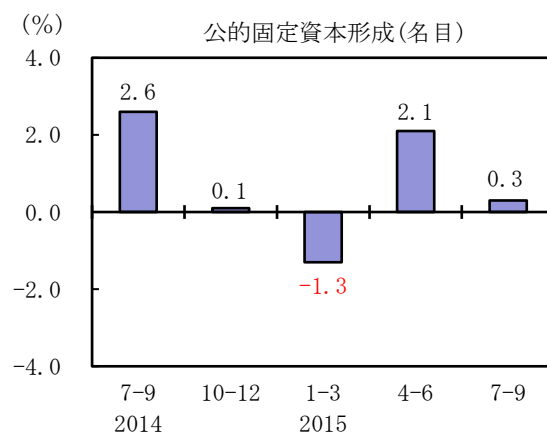
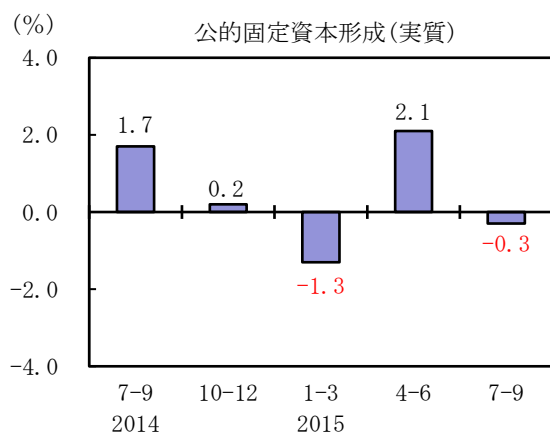
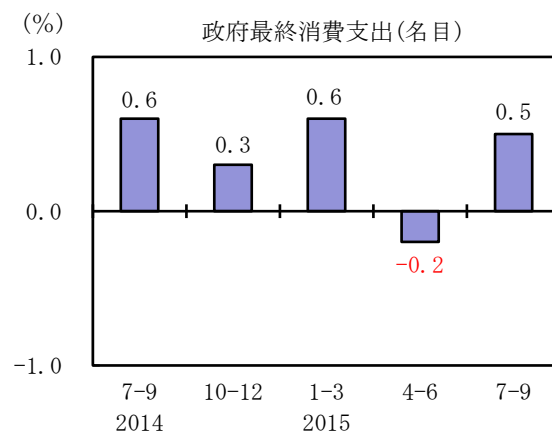
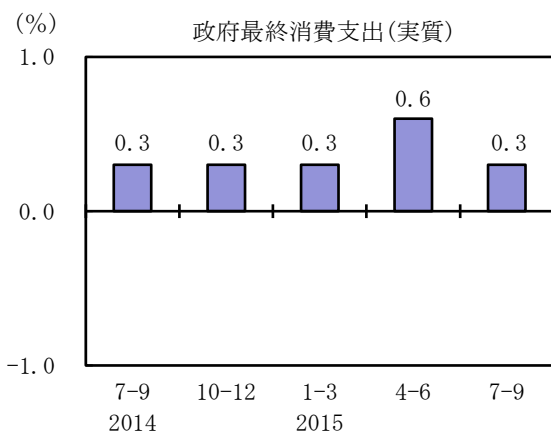


(2) 公的需要の動向

政府最終消費支出は、実質0.3%（4～6月期は0.6%）、名目0.5%（4～6月期は▲0.2%）となった。

公的固定資本形成は、実質▲0.3%（4～6月期は2.1%）、名目0.3%（4～6月期は2.1%）となった。

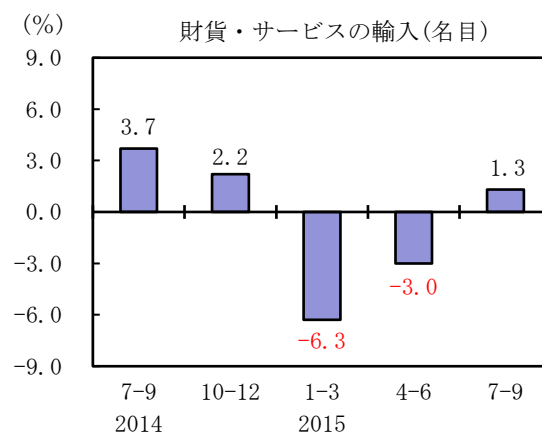
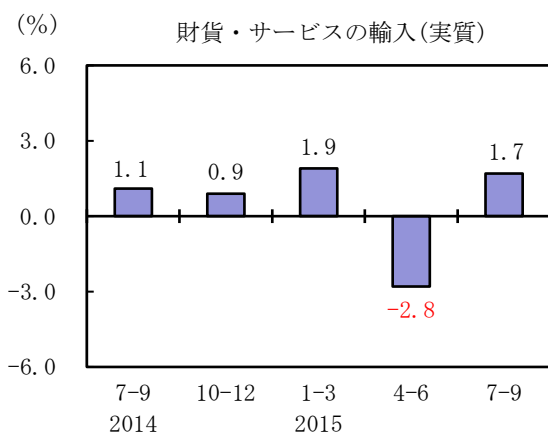
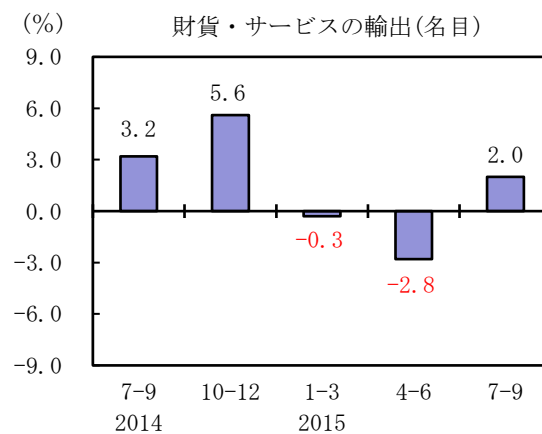
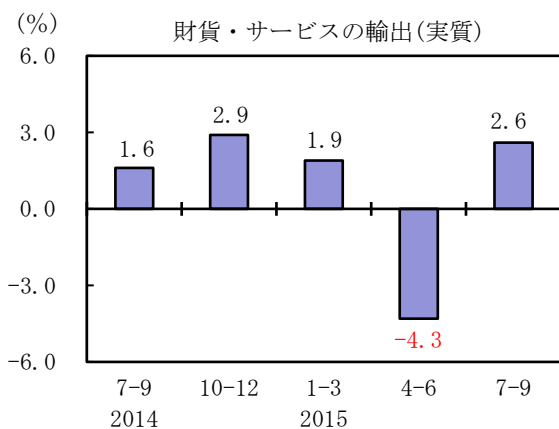
公的在庫品増加の成長率への寄与度は、実質▲0.0%（4～6月期の寄与度は▲0.0%）、名目▲0.0%（4～6月期の寄与度は▲0.0%）となった。



### (3) 輸出入の動向

財貨・サービスの輸出は、実質2.6%（4～6月期は▲4.3%）、名目2.0%（4～6月期は▲2.8%）となった。

財貨・サービスの輸入は、実質1.7%（4～6月期は▲2.8%）、名目1.3%（4～6月期は▲3.0%）となった。



#### [4] デフレーターの変動

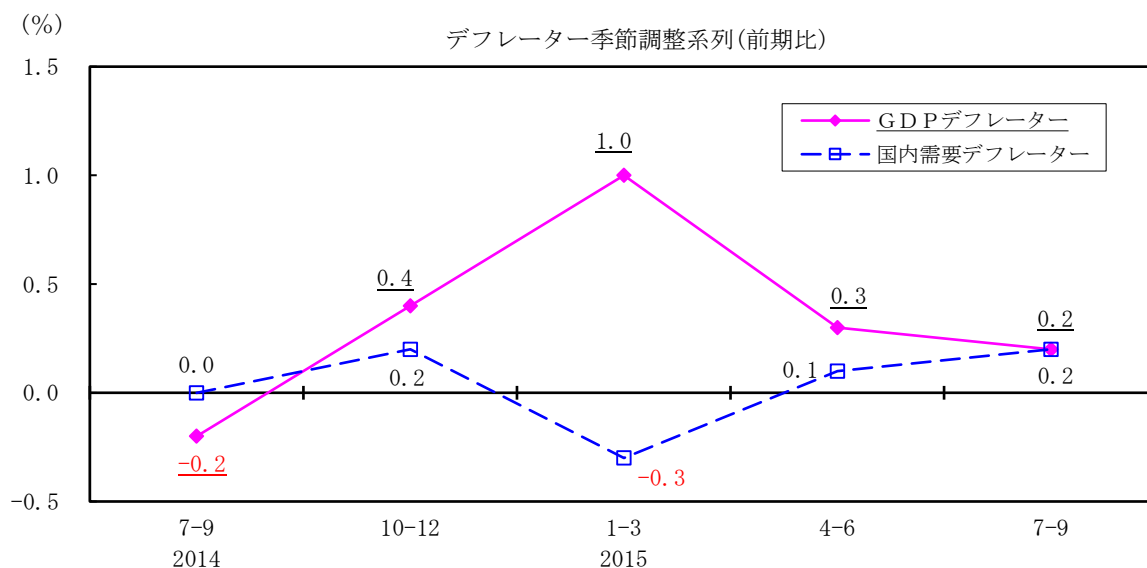
(1) 四半期デフレーター季節調整系列(注) (前期比変化率)

GDPデフレーターは、0.2% (4~6月期は0.3%) となった。

国内需要デフレーターは、0.2% (4~6月期は0.1%) となった。

財貨・サービスの輸出デフレーターは▲0.6% (4~6月期は1.5%)、財貨・サービスの輸入デフレーターは▲0.5% (4~6月期は▲0.1%) となった。

(注) 四半期デフレーター季節調整系列=(名目季節調整系列 / 実質季節調整系列)×100

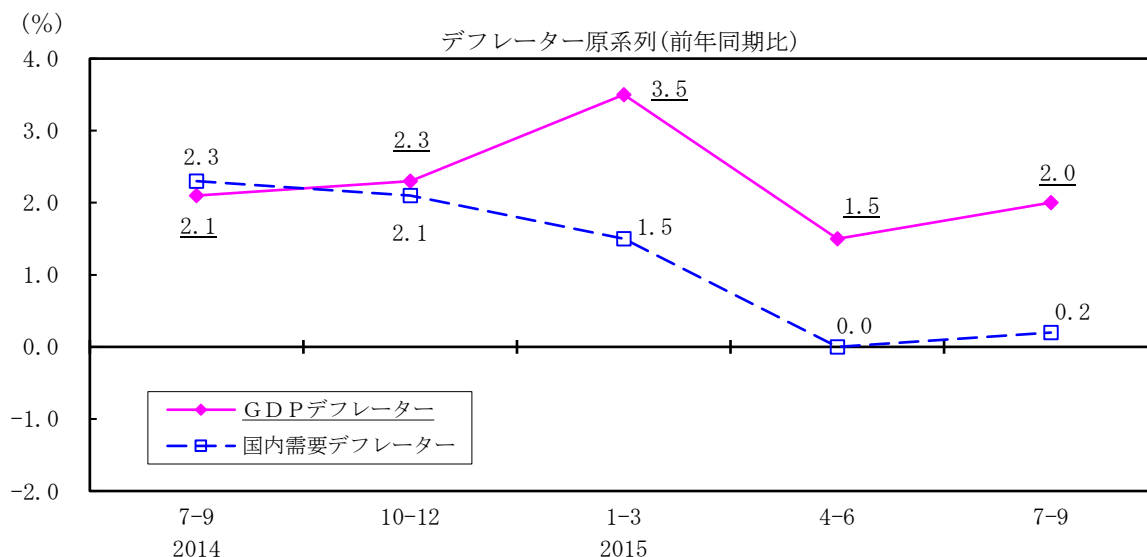


(2) 四半期デフレーター原系列(前年同期比変化率)

GDPデフレーターは、2.0% (4~6月期は1.5%) となった。

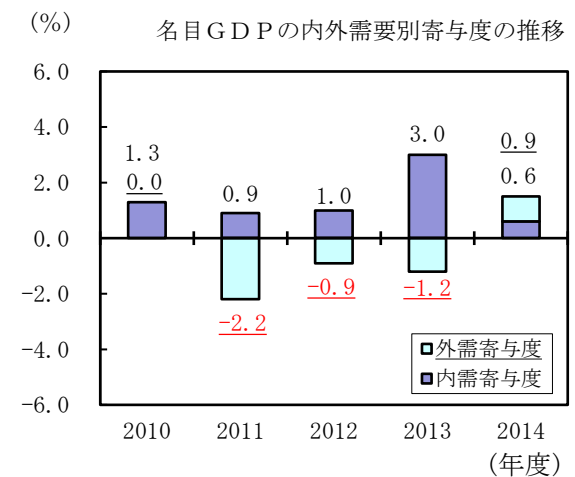
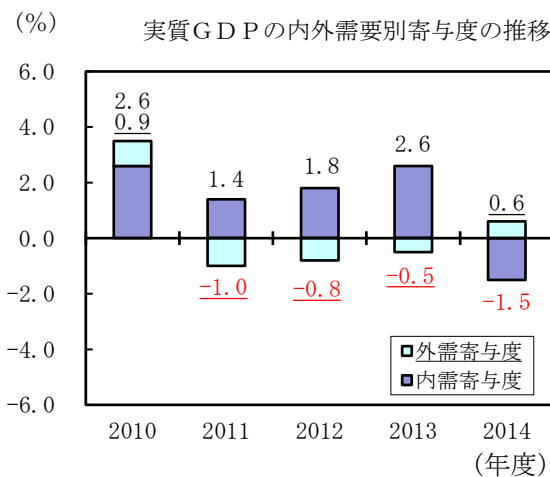
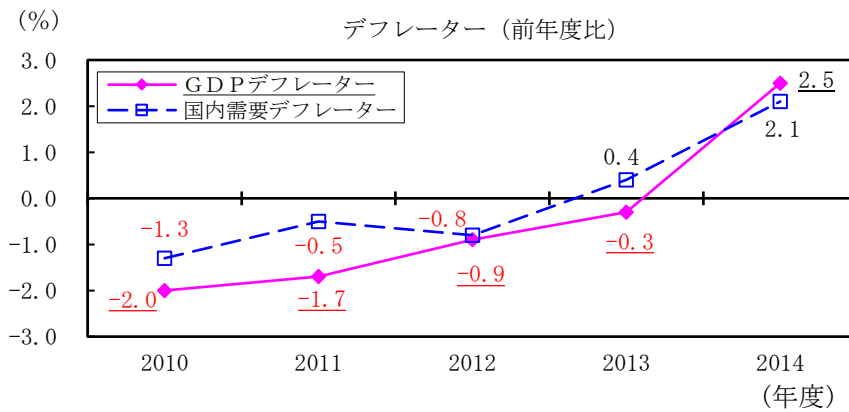
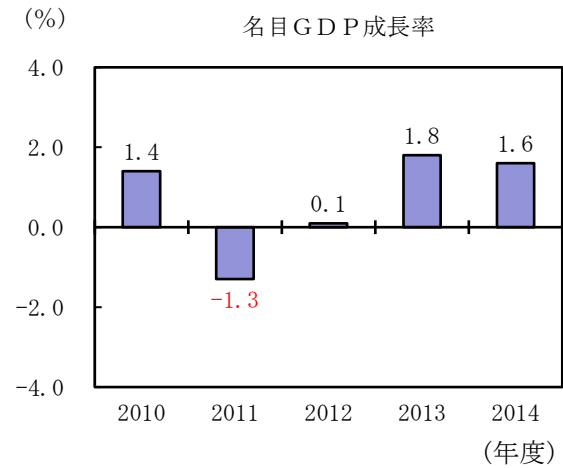
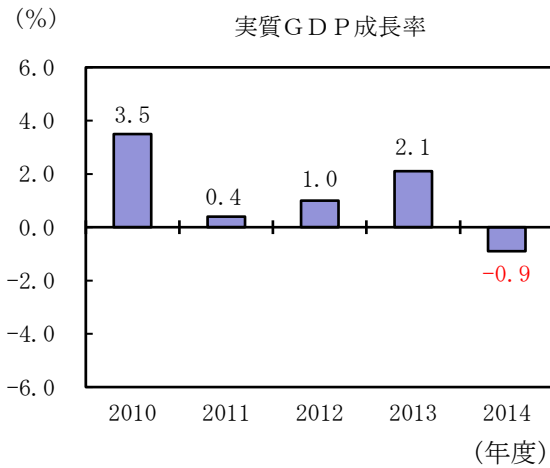
国内需要デフレーターは、0.2% (4~6月期は0.0%) となった。

財貨・サービスの輸出デフレーターは1.7% (4~6月期は3.1%)、財貨・サービスの輸入デフレーターは▲7.2% (4~6月期は▲4.6%) となった。



## [5] 2014年度のGDP

2014年度の実質GDP成長率は▲0.9%、名目GDP成長率は1.6%となった。2014年度のデフレーターについては、GDPデフレーターが2.5%、国内需要デフレーターが2.1%となった。GDP成長率の内外需別寄与度をみると、実質の内需が▲1.5%、外需が0.6%となった。また名目の内需が0.6%、外需が0.9%となった。

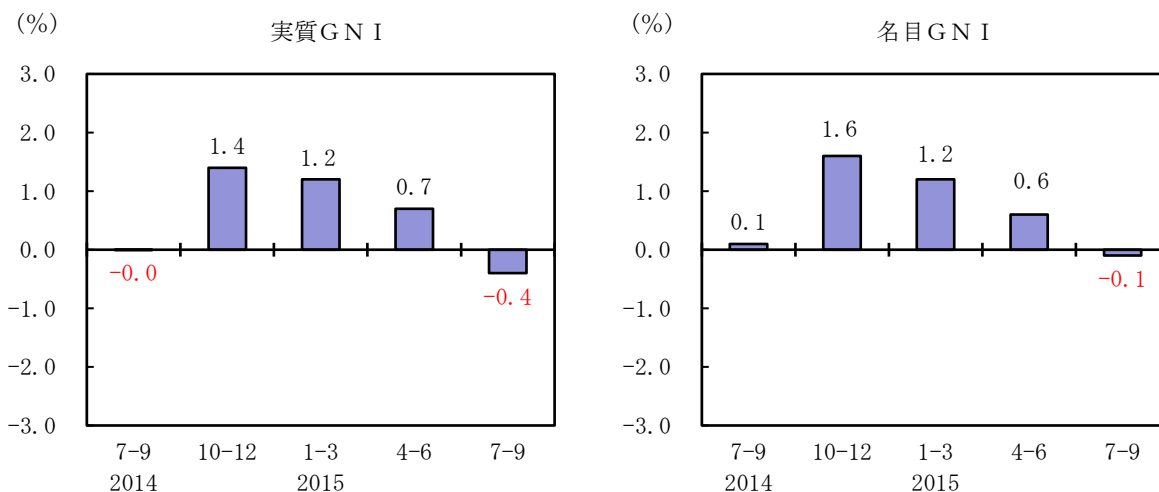


## 参考

### [1] GNI（国民総所得）の動向

#### (1) 季節調整済前期比

実質GNIの成長率は、▲0.4%（年率▲1.6%）、名目GNIの成長率は、▲0.1%（年率▲0.2%）となった。



(備考) 実質GNI = 実質GDP + 海外からの実質純所得 + 交易利得

(▲0.4) (▲0.2) (▲0.1) (▲0.1)

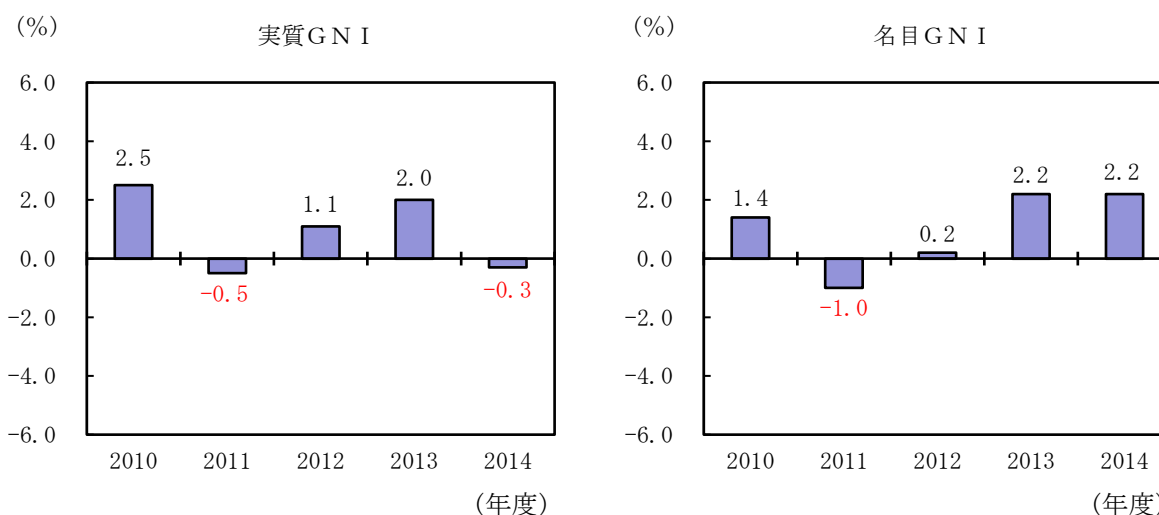
名目GNI = 名目GDP + 海外からの純所得

(▲0.1) (0.0) (▲0.1)

( ) 内はGNI成長率  
に対する寄与度

#### (2) 2014年度(前年度比)

2014年度(前年度比)のGNI成長率は、実質▲0.3%、名目2.2%となった。



(備考) 実質GNI = 実質GDP + 海外からの実質純所得 + 交易利得

(▲0.3) (▲0.9) (0.5) (0.1)

名目GNI = 名目GDP + 海外からの純所得

(2.2) (1.6) (0.6)

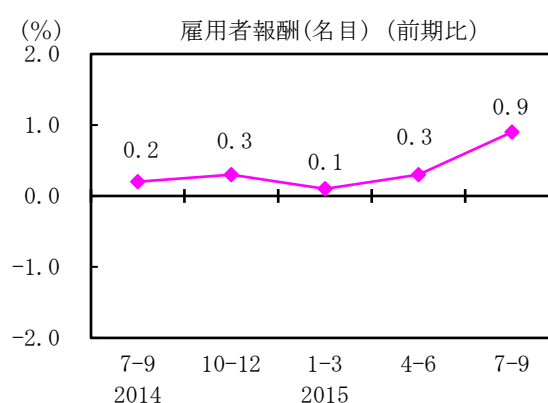
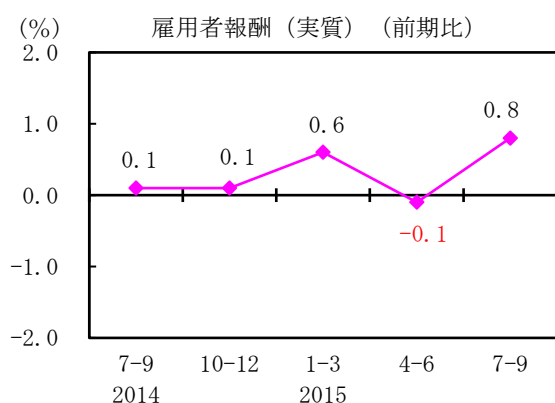
( ) 内はGNI成長率  
に対する寄与度



## 【2】雇用者報酬の動向

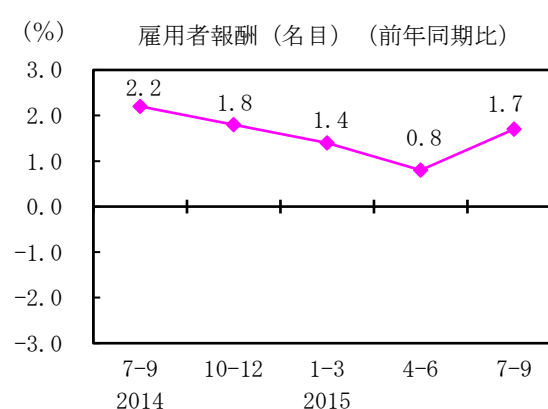
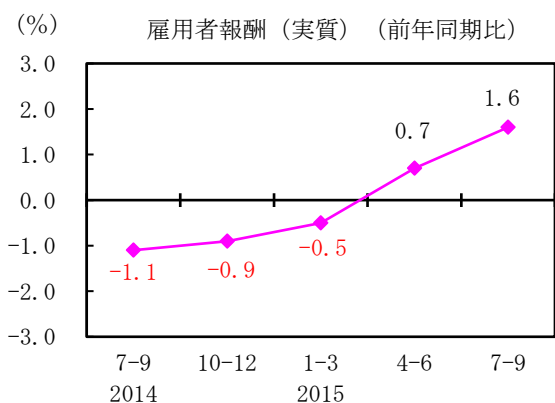
### (1) 季節調整系列（前期比変化率）

雇用者報酬の伸び率は、実質0.8%、名目0.9%となった。



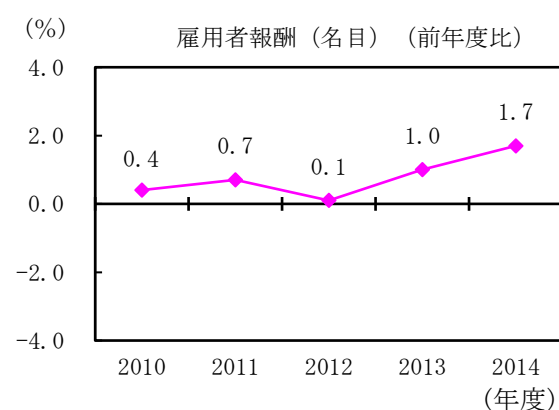
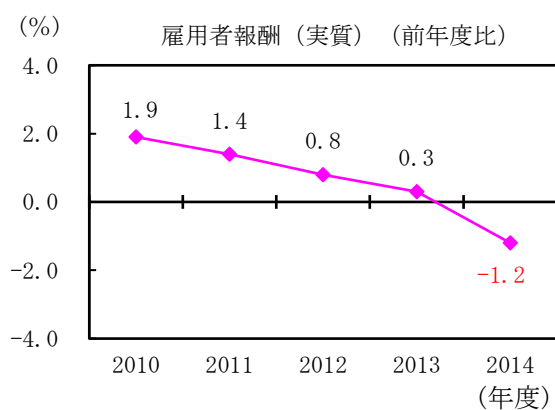
### (2) 原系列（前年同期比変化率）

雇用者報酬の伸び率は、実質1.6%、名目1.7%となった。



### (3) 2014年度

2014年度の雇用者報酬の伸び率は、実質▲1.2%、名目1.7%となった。



(備考) 実質雇用者報酬は名目雇用者報酬を家計最終消費支出（除く持ち家の帰属家賃及びFISIM）デフレーターで除して算出した参考値。

## 2-1. 四半期別の実質成長率（季節調整系列）

DATE 2015.11.16

Development of Real GDP (Quarterly), seasonally adjusted series

前期比  
(季節調整済)  
※1

前期比の  
年率換算  
※2

(2005暦年連鎖価格； 単位：%)

(Chained (2005) yen ; %)

項 目	2014		2015			2015		
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	7~9		
国内総生産 (GDP)	-0.3	0.3	1.1	-0.2	-0.2	***	-0.8	Gross Domestic Product
国内需要	-0.3	-0.0	1.1	0.0	-0.3	***	-1.2	Domestic Demand
	(-0.3)	(-0.0)	(1.2)	(0.0)	***	(-0.3)	***	
民間需要	-0.7	-0.1	1.5	-0.2	-0.5	(-0.3)	-1.8	Private Demand
民間最終消費支出	0.2	0.4	0.4	-0.6	0.5	(0.3)	2.1	Private Consumption
家計最終消費支出	0.2	0.3	0.4	-0.6	0.5	(0.3)	2.1	Consumption of Households
除く持ち家の帰属家賃	0.2	0.4	0.5	-0.8	0.6	(0.3)	2.3	Excluding Imputed Rent
民間住宅	-6.8	-0.7	2.0	2.4	1.9	(0.1)	8.0	Private Residential Investment
民間企業設備	0.3	0.0	2.4	-1.2	-1.3	(-0.2)	-5.0	Private Non-Resi. Investment
民間在庫品増加	(-0.5)	(-0.3)	(0.5)	(0.3)	***	(-0.5)	***	Change in Private Inventory
公的需要	0.7	0.2	-0.0	0.8	0.2	(0.0)	0.7	Public Demand
政府最終消費支出	0.3	0.3	0.3	0.6	0.3	(0.1)	1.2	Government Consumption
公的固定資本形成	1.7	0.2	-1.3	2.1	-0.3	(-0.0)	-1.3	Public Investment
公的在庫品増加	(0.0)	(-0.0)	(0.0)	(-0.0)	***	(-0.0)	***	Change in Public Inventory
(再掲)総固定資本形成 ※3	-0.4	-0.0	1.5	0.0	-0.6	(-0.1)	-2.5	(Regrouped) Gross Fixed Capital Formation ※3
財貨・サービスの純輸出 ※4	(0.1)	(0.3)	(-0.0)	(-0.2)	***	(0.1)	***	Net Exports of Goods & Services ※4
財貨・サービスの輸出	1.6	2.9	1.9	-4.3	2.6	(0.5)	10.9	Exports of Goods & Services
(控除)財貨・サービスの輸入	1.1	0.9	1.9	-2.8	1.7	(-0.4)	7.1	(Less) Imports of Goods & Services

(注) ( )内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note. The Figures in ( ) indicate contributions to Changes in GDP.

(参考)

国内総所得 (GDI)	-0.5	0.4	2.2	0.2	-0.3	***	-1.2	Gross Domestic Income
国民総所得 (GNI)	-0.0	1.4	1.2	0.7	-0.4	***	-1.6	Gross National Income
雇用者報酬 (実質)	0.1	0.1	0.6	-0.1	0.8	***	***	Compensation of Employees (Real)

※1 Changes from the previous quarter (seasonally adjusted)

※2 Annual rate

※3 総固定資本形成は民間住宅、民間企業設備、公的固定資本形成から成る。

Gross Fixed Capital Formation consists of Private Residential Investment, Private Non-Resi. Investment, and Public Investment.

※4 財貨・サービスの純輸出=財貨・サービスの輸出-財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports Less that of Imports.

## 2-2. 四半期別の実質成長率（原系列）

DATE 2015.11.16

Development of Real GDP (Quarterly), original series

前年同期比  
※1

(2005暦年連鎖価格； 単位：%)

(Chained (2005) yen ; %)

年・期 項目	2014		2015				
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9		
国内総生産（GDP）	-1.4	-0.9	-0.8	1.0	1.0	***	Gross Domestic Product
国内需要	-1.6	-1.9	-1.9	0.8	0.8	***	Domestic Demand
	(-1.6)	(-1.9)	(-2.0)	(0.8)	***	(0.8)	
民間需要	-2.4	-2.8	-2.9	0.6	0.7	(0.5)	Private Demand
民間最終消費支出	-3.0	-2.4	-4.0	0.4	0.7	(0.4)	Private Consumption
家計最終消費支出	-3.2	-2.6	-4.2	0.3	0.6	(0.3)	Consumption of Households
除く持ち家の帰属家賃	-4.1	-3.3	-5.2	0.2	0.5	(0.2)	Excluding Imputed Rent
民間住宅	-12.4	-15.5	-15.4	-3.3	5.7	(0.2)	Private Residential Investment
民間企業設備	1.4	0.2	-1.4	1.4	-0.3	(-0.0)	Private Non-Resi. Investment
民間在庫品増加	(0.2)	(-0.2)	(0.9)	(0.1)	***	(-0.0)	Change in Private Inventory
公的需要	0.8	0.9	0.8	1.5	1.2	(0.3)	Public Demand
政府最終消費支出	0.2	0.5	0.9	1.6	1.5	(0.3)	Government Consumption
公的固定資本形成	2.0	2.3	0.1	2.2	0.8	(0.0)	Public Investment
公的在庫品増加	(0.1)	(-0.0)	(0.0)	(-0.0)	***	(-0.0)	Change in Public Inventory
(再掲)総固定資本形成※2	-0.6	-1.6	-3.0	0.7	0.7	(0.2)	(Regrouped) Gross Fixed Capital Formation ※2
財貨・サービスの純輸出※3	(0.2)	(1.1)	(1.3)	(0.1)	***	(0.2)	Net Exports of Goods & Services ※3
財貨・サービスの輸出	7.7	11.3	7.2	1.8	2.9	(0.5)	Exports of Goods & Services
(控除)財貨・サービスの輸入	5.3	3.8	-0.2	0.8	1.4	(-0.3)	(Less) Imports of Goods & Services

(注) ( )内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note. The Figures in ( ) indicate contributions to Changes in GDP.

(参考)

国内総所得（GDI）	-2.0	-1.1	0.5	2.3	2.6	***	Gross Domestic Income
国民総所得（GNI）	-1.5	0.1	1.5	3.3	3.1	***	Gross National Income
雇 用 者 報 酬（実質）	-1.1	-0.9	-0.5	0.7	1.6	***	Compensation of Employees (Real)

※1 Changes from the previous year

※2 総固定資本形成は民間住宅、民間企業設備、公的固定資本形成から成る。

Gross Fixed Capital Formation consists of Private Residential Investment, Private Non-Resi. Investment, and Public Investment.

※3 財貨・サービスの純輸出＝財貨・サービスの輸出－財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports Less that of Imports.

## 2-3. 四半期別の名目成長率（季節調整系列）

DATE 2015. 11. 16

Development of Nominal GDP (Quarterly), seasonally adjusted series

項 目	年・期	前期比 (季節調整済) ※1					前期比の 年率換算 ※2	(%)	
		2014		2015			2015		
		7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	7~9		
国内総生産 (GDP)		-0.5	0.7	2.2	0.2	0.0	***	0.1	Gross Domestic Product
国内需要		-0.3	0.1	0.9	0.1	-0.1	***	-0.4	Domestic Demand
		(-0.3)	(0.1)	(0.9)	(0.1)	***	(-0.1)	***	
民間需要		-0.7	0.1	1.1	0.1	-0.3	(-0.2)	-1.2	Private Demand
民間最終消費支出		0.3	0.4	-0.1	-0.3	0.5	(0.3)	2.1	Private Consumption
家計最終消費支出		0.3	0.4	-0.1	-0.4	0.5	(0.3)	2.1	Consumption of Households
除く持ち家の帰属家賃		0.3	0.5	-0.1	-0.4	0.6	(0.3)	2.5	Excluding Imputed Rent
民間住宅		-7.1	-0.5	2.3	2.1	1.9	(0.1)	8.0	Private Residential Investment
民間企業設備		0.5	0.5	2.6	-0.9	-1.0	(-0.1)	-3.9	Private Non-Resi. Investment
民間在庫品増加		(-0.6)	(-0.2)	(0.4)	(0.3)	***	(-0.4)	***	Change in Private Inventory
公的需要		1.1	0.1	0.3	0.2	0.5	(0.1)	1.9	Public Demand
政府最終消費支出		0.6	0.3	0.6	-0.2	0.5	(0.1)	2.2	Government Consumption
公的固定資本形成		2.6	0.1	-1.3	2.1	0.3	(0.0)	1.3	Public Investment
公的在庫品増加		(0.0)	(-0.0)	(0.0)	(-0.0)	***	(-0.0)	***	Change in Public Inventory
(再掲)総固定資本形成※3		-0.1	0.2	1.6	0.2	-0.3	(-0.1)	-1.2	(Regrouped) Gross Fixed Capital Formation ※3
財貨・サービスの純輸出※4		(-0.2)	(0.5)	(1.3)	(0.1)	***	(0.1)	***	Net Exports of Goods & Services ※4
財貨・サービスの輸出		3.2	5.6	-0.3	-2.8	2.0	(0.4)	8.3	Exports of Goods & Services
(控除)財貨・サービスの輸入		3.7	2.2	-6.3	-3.0	1.3	(-0.2)	5.1	(Less) Imports of Goods & Services

(注) ( )内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note. The Figures in ( ) indicate contributions to Changes in GDP.

(参考)

国民総所得 (GNI)	0.1	1.6	1.2	0.6	-0.1	***	-0.2	Gross National Income
雇用者報酬 (名目)	0.2	0.3	0.1	0.3	0.9	***	***	Compensation of Employees (Nominal)

GDPデフレーター	-0.2	0.4	1.0	0.3	0.2	***	***	GDP Deflator
国内需要デフレーター	0.0	0.2	-0.3	0.1	0.2	***	***	Domestic Demand Deflator

※1 Changes from the previous quarter (seasonally adjusted)

※2 Annual rate

※3 総固定資本形成は民間住宅、民間企業設備、公的固定資本形成から成る。

Gross Fixed Capital Formation consists of Private Residential Investment, Private Non-Resi. Investment, and Public Investment.

※4 財貨・サービスの純輸出=財貨・サービスの輸出-財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports Less that of Imports.

## 2-4. 四半期別の名目成長率（原系列）

DATE 2015. 11. 16

Development of Nominal GDP (Quarterly), original series

前年同期比  
※1

(単位：%)

(%)

年・期 項目	2014		2015				
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9		
国内総生産 (GDP)	0.6	1.4	2.6	2.5	3.1	***	Gross Domestic Product
国内需要	0.7	0.2	-0.5	0.8	1.0	***	Domestic Demand
	(0.7)	(0.2)	(-0.5)	(0.9)	***	(1.0)	
民間需要	-0.2	-0.9	-1.6	0.6	0.9	(0.7)	Private Demand
民間最終消費支出	-0.7	-0.5	-2.7	0.3	0.5	(0.3)	Private Consumption
家計最終消費支出	-0.8	-0.6	-2.9	0.2	0.4	(0.2)	Consumption of Households
除く持ち家の帰属家賃	-1.0	-0.7	-3.5	0.3	0.5	(0.2)	Excluding Imputed Rent
民間住宅	-9.0	-13.0	-12.9	-3.4	6.0	(0.2)	Private Residential Investment
民間企業設備	2.6	1.6	-0.1	2.6	0.9	(0.1)	Private Non-Resi. Investment
民間在庫品増加	(0.2)	(-0.2)	(0.9)	(0.1)	***	(0.1)	Change in Private Inventory
公的需要	3.6	3.3	3.0	1.5	1.1	(0.3)	Public Demand
政府最終消費支出	2.7	3.0	3.1	1.2	1.2	(0.2)	Government Consumption
公的固定資本形成	5.9	5.0	2.6	3.3	1.5	(0.1)	Public Investment
公的在庫品増加	(0.1)	(-0.0)	(0.0)	(-0.0)	***	(-0.0)	Change in Public Inventory
(再掲)総固定資本形成※2	1.5	0.2	-1.2	1.8	1.7	(0.4)	(Regrouped) Gross Fixed Capital Formation ※2
財貨・サービスの純輸出 ※3	(-0.1)	(1.2)	(3.1)	(1.6)	***	(2.1)	Net Exports of Goods & Services ※3
財貨・サービスの輸出	9.6	16.2	9.3	4.9	4.7	(0.8)	Exports of Goods & Services
(控除)財貨・サービスの輸入	8.7	6.9	-7.1	-3.8	-5.9	(1.2)	(Less) Imports of Goods & Services

(注) ( ) 内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note. The Figures in ( ) indicate contributions to Changes in GDP.

(参考)

国民総所得 (GNI)	1.1	2.5	3.6	3.5	3.5	***	Gross National Income
雇 用 者 報 酬 ( 名 目 )	2.2	1.8	1.4	0.8	1.7	***	Compensation of Employees (Nominal)

GDPデフレーター	2.1	2.3	3.5	1.5	2.0	***	GDP Deflator
国内需要デフレーター	2.3	2.1	1.5	0.0	0.2	***	Domestic Demand Deflator

※1 Changes from the previous year

※2 総固定資本形成は民間住宅、民間企業設備、公的固定資本形成から成る。

Gross Fixed Capital Formation consists of Private Residential Investment, Private Non-Resi. Investment, and Public Investment.

※3 財貨・サービスの純輸出=財貨・サービスの輸出-財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports Less that of Imports.

3-1. 年次別の実質成長率  
Development of Real GDP (Annual)

DATE 2015.11.16

前年比  
※1

(2005暦年連鎖価格； 単位：%)

(Chained (2005) yen ; %)

項目	年	年度(Fiscal Year)				暦年(Calendar Year)			
		2011	2012	2013	2014	2012	2013	2014	
国内総生産 (GDP)		0.4	1.0	2.1	-0.9	1.7	1.6	-0.1	Gross Domestic Product
国内需要		1.4	1.8	2.5	-1.4	2.6	1.9	-0.1	Domestic Demand
		(1.4)	(1.8)	(2.6)	(-1.5)	(2.6)	(1.9)	(-0.1)	
民間需要		1.7	1.9	2.3	-2.1	2.9	1.5	-0.4	Private Demand
民間最終消費支出		1.4	1.8	2.5	-3.1	2.3	2.1	-1.3	Private Consumption
家計最終消費支出		1.2	1.6	2.5	-3.3	2.1	2.1	-1.4	Consumption of Households
除く持ち家の帰属家賃		1.3	1.7	2.7	-4.1	2.3	2.2	-1.9	Excluding Imputed Rent
民間住宅		3.2	5.7	9.3	-11.6	3.2	8.8	-5.1	Private Residential Investment
民間企業設備		4.8	1.2	4.0	0.5	3.7	0.4	4.0	Private Non-Resi. Investment
民間在庫品増加		(-0.3)	(0.0)	(-0.5)	(0.5)	(0.2)	(-0.4)	(0.1)	Change in Private Inventory
公的需要		0.5	1.4	3.2	0.8	1.8	2.9	1.0	Public Demand
政府最終消費支出		1.2	1.5	1.6	0.4	1.7	1.9	0.2	Government Consumption
公的固定資本形成		-3.2	1.0	10.3	2.0	2.7	8.0	3.8	Public Investment
公的在庫品増加		(0.0)	(-0.0)	(0.0)	(0.0)	(-0.0)	(-0.0)	(0.0)	Change in Public Inventory
(再掲)総固定資本形成 ※2		2.8	1.8	6.1	-1.0	3.4	3.2	2.6	(Regrouped) Gross Fixed Capital Formation ※2
財貨・サービスの純輸出 ※3		(-1.0)	(-0.8)	(-0.5)	(0.6)	(-0.9)	(-0.3)	(-0.0)	Net Exports of Goods & Services ※3
財貨・サービスの輸出		-1.6	-1.4	4.4	7.9	-0.2	1.2	8.4	Exports of Goods & Services
(控除)財貨・サービスの輸入		5.4	3.6	6.7	3.6	5.3	3.1	7.4	(Less) Imports of Goods & Services

(注) ( )内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note. The Figures in ( ) indicate contributions to Changes in GDP.

(参考)

国内総所得 (GDI)	-0.8	0.9	1.6	-0.9	1.5	1.3	-0.6	Gross Domestic Income
国民総所得 (GNI)	-0.5	1.1	2.0	-0.3	1.5	1.7	-0.2	Gross National Income
雇 用 者 報 酬 (実 質)	1.4	0.8	0.3	-1.2	0.9	0.6	-1.2	Compensation of Employees (Real)

※1 Changes from the previous year

※2 総固定資本形成は民間住宅、民間企業設備、公的固定資本形成から成る。

Gross Fixed Capital Formation consists of Private Residential Investment, Private Non-Resi. Investment, and Public Investment.

※3 財貨・サービスの純輸出=財貨・サービスの輸出-財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports Less that of Imports.

3-2. 年次別の名目成長率  
Development of Nominal GDP (Annual)

DATE 2015. 11. 16

前年比  
※1

(単位：%)

項目	年	前年比 ※1						年	
		年度(Fiscal Year)				暦年(Calendar Year)			
		2011	2012	2013	2014	2012	2013		2014
国内総生産 (GDP)		-1.3	0.1	1.8	1.6	0.8	1.0	1.6	Gross Domestic Product
国内需要		0.9	1.0	2.9	0.6	1.9	1.9	1.8	Domestic Demand
		(0.9)	(1.0)	(3.0)	(0.6)	(1.9)	(1.9)	(1.9)	
民間需要		1.0	1.0	2.8	-0.2	2.1	1.6	1.4	Private Demand
民間最終消費支出		0.7	0.8	2.7	-1.0	1.4	1.9	0.7	Private Consumption
家計最終消費支出		0.5	0.6	2.8	-1.2	1.2	1.8	0.6	Consumption of Households
除く持ち家の帰属家賃		0.7	0.7	3.3	-1.4	1.5	2.2	0.7	Excluding Imputed Rent
民間住宅		3.7	5.1	12.5	-8.5	2.4	11.3	-1.8	Private Residential Investment
民間企業設備		3.8	1.0	4.9	1.8	3.3	1.2	5.1	Private Non-Resi. Investment
民間在庫品増加		(-0.2)	(0.0)	(-0.5)	(0.5)	(0.2)	(-0.4)	(0.1)	Change in Private Inventory
公的需要		0.6	0.7	3.3	3.2	1.3	3.0	3.0	Public Demand
政府最終消費支出		1.2	0.8	1.3	2.7	1.1	1.7	2.0	Government Consumption
公的固定資本形成		-2.6	0.8	12.4	5.1	2.4	9.5	6.8	Public Investment
公的在庫品増加		(0.0)	(-0.0)	(0.0)	(0.0)	(-0.0)	(-0.0)	(0.0)	Change in Public Inventory
(再掲)総固定資本形成 ※2		2.4	1.5	7.6	1.0	3.0	4.3	4.5	(Regrouped) Gross Fixed Capital Formation ※2
財貨・サービスの純輸出 ※3		(-2.2)	(-0.9)	(-1.2)	(0.9)	(-1.1)	(-0.9)	(-0.3)	Net Exports of Goods & Services ※3
財貨・サービスの輸出		-3.9	-0.9	13.3	10.4	-2.2	10.8	11.4	Exports of Goods & Services
(控除)財貨・サービスの輸入		11.2	4.5	18.8	3.9	4.7	15.2	11.4	(Less) Imports of Goods & Services

(注) ( )内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note. The Figures in ( ) indicate contributions to Changes in GDP.

(参考)

国民総所得 (GNI)	-1.0	0.2	2.2	2.2	0.8	1.5	1.9	Gross National Income
雇用者報酬 (名目)	0.7	0.1	1.0	1.7	0.3	0.8	1.5	Compensation of Employees (Nominal)
GDPデフレーター	-1.7	-0.9	-0.3	2.5	-0.9	-0.6	1.7	GDP Deflator
国内需要デフレーター	-0.5	-0.8	0.4	2.1	-0.7	0.0	1.9	Domestic Demand Deflator

※1 Changes from the previous year

※2 総固定資本形成は民間住宅、民間企業設備、公的固定資本形成から成る。

Gross Fixed Capital Formation consists of Private Residential Investment, Private Non-Resi. Investment, and Public Investment.

※3 財貨・サービスの純輸出=財貨・サービスの輸出-財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports Less that of Imports.

## Ⅱ. 形態別国内家計最終消費支出及び財貨・サービス別の輸出入

Domestic final consumption expenditure of households classified by type, Exports and Imports of goods and services

### 1-1. 四半期別の実質成長率

Development of Real GDP (Quarterly)

項 目	(2005暦年連鎖価格； 単位：%)						前期比の年率換算 ※2		前年同期比 ※3	(Chained (2005) yen ; %)
	2014		2015				2015	2015		
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	7~9	7~9			
(再掲) 家計最終消費支出	0.2	0.3	0.4	-0.6	0.5	(0.3)	2.1	0.6	(id, at §1) Consumption of Households	
居住者家計の海外での直接購入	-6.1	-6.6	-2.2	-1.5	1.7	(0.0)	7.0	-8.5	Direct Purchases Abroad by Resident Households	
(控除) 非居住者家計の国内での直接購入	2.8	25.1	16.7	6.5	11.7	(-0.1)	55.6	73.6	(Less) Direct Purchases in the Domestic Market by Non-Resident Households	
国内家計最終消費支出	0.3	0.5	0.6	-0.5	0.6	(0.4)	2.5	1.1	Domestic Final Consumption Expenditure of Households	
耐 久 財	-4.6	1.9	0.9	-1.6	1.4	(0.1)	5.9	2.1	Durable Goods	
半 耐 久 財	3.9	-0.1	1.7	-4.0	2.6	(0.1)	11.0	-0.0	Semi-Durable Goods	
非 耐 久 財	2.2	0.2	0.4	-0.5	0.2	(0.0)	0.9	0.2	Non-Durable Goods	
サ ー ビ ス	-0.4	0.6	0.5	0.1	0.4	(0.1)	1.7	1.5	Services	

(再掲) 財貨・サービスの純輸出 ※4	(0.1)	(0.3)	(-0.0)	(-0.2)	***	(0.1)	***	(0.2)	(id, at §1) Net Exports of Goods & Services ※4
(再掲) 財貨・サービスの輸出	1.6	2.9	1.9	-4.3	2.6	(0.5)	10.9	2.9	(id, at §1) Exports of Goods & Services
財貨の輸出	2.0	2.5	1.4	-5.0	1.8	(0.3)	7.3	0.3	Exports of Goods
サービスの輸出 ※5	-0.8	5.1	5.0	-0.4	7.0	(0.2)	31.0	18.1	Exports of Services ※5
(再掲) 財貨・サービスの輸入	1.1	0.9	1.9	-2.8	1.7	(-0.4)	7.1	1.4	(id, at §1) Imports of Goods & Services
財貨の輸入	0.8	1.2	1.0	-3.3	2.3	(-0.4)	9.5	0.9	Imports of Goods
サービスの輸入 ※6	2.7	-0.7	6.6	-0.2	-1.0	(0.0)	-4.1	4.5	Imports of Services ※6

(注) ( ) 内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note. The Figures in ( ) indicate contributions to Changes in GDP.

※1 Changes from the previous quarter (seasonally adjusted)

※2 Annual rate

※3 Changes from the previous year

※4 財貨・サービスの純輸出=財貨・サービスの輸出-財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports Less that of Imports.

※5 含む非居住者家計の国内での直接購入

Including Direct Purchases in the Domestic Market by Non-Resident Households

※6 含む居住者家計の海外での直接購入

Including Direct Purchases Abroad by Resident Households



1-2. 四半期別の名目成長率  
Development of Nominal GDP (Quarterly)

DATE 2015. 11. 16

年・期 項目	前期比 (季節調整済) ※1						前期比の 年率換算 ※2	前年 同期比 ※3	(%)
	2014		2015				2015	2015	
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9		7~9	7~9	
(再掲) 家計最終消費支出	0.3	0.4	-0.1	-0.4	0.5	(0.3)	2.1	0.4	(id, at §1) Consumption of Households
居住者家計の海外での直接購入	-2.0	-1.5	-3.0	1.5	3.1	(0.0)	13.2	0.1	Direct Purchases Abroad by Resident Households
(控除) 非居住者家計の国内での 直接購入	3.5	24.5	16.8	6.9	12.0	(-0.1)	57.6	74.0	(Less) Direct Purchases in the Domestic Market by Non-Resident Households
国内家計最終消費支出	0.3	0.6	0.1	-0.3	0.6	(0.3)	2.4	0.9	Domestic Final Consumption Expenditure of Households
耐久財	-5.8	2.0	0.8	-1.2	1.9	(0.1)	7.9	3.1	Durable Goods
半耐久財	4.1	0.6	1.9	-3.8	3.0	(0.1)	12.7	1.6	Semi-Durable Goods
非耐久財	2.8	0.2	-1.2	0.1	-0.1	(-0.0)	-0.2	-1.1	Non-Durable Goods
サービス	-0.4	0.5	0.3	0.1	0.4	(0.1)	1.6	1.4	Services

(再掲) 財貨・サービスの純輸出 ※4	(-0.2)	(0.5)	(1.3)	(0.1)	***	(0.1)	***	(2.1)	(id, at §1) Net Exports of Goods & Services ※4
(再掲) 財貨・サービスの輸出	3.2	5.6	-0.3	-2.8	2.0	(0.4)	8.3	4.7	(id, at §1) Exports of Goods & Services
財貨の輸出	3.5	5.2	-1.1	-2.8	0.6	(0.1)	2.5	2.0	Exports of Goods
サービスの輸出 ※5	1.1	8.3	4.1	-2.9	9.2	(0.3)	42.3	20.1	Exports of Services ※5
(再掲) 財貨・サービスの輸入	3.7	2.2	-6.3	-3.0	1.3	(-0.2)	5.1	-5.9	(id, at §1) Imports of Goods & Services
財貨の輸入	3.6	2.2	-8.3	-3.8	1.6	(-0.2)	6.7	-8.3	Imports of Goods
サービスの輸入 ※6	4.6	2.4	4.0	1.1	-0.4	(0.0)	-1.5	7.3	Imports of Services ※6

(注) ( ) 内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note. The Figures in ( ) indicate contributions to Changes in GDP.

※1 Changes from the previous quarter (seasonally adjusted)

※2 Annual rate

※3 Changes from the previous year

※4 財貨・サービスの純輸出=財貨・サービスの輸出-財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports Less that of Imports.

※5 含む非居住者家計の国内での直接購入

Including Direct Purchases in the Domestic Market by Non-Resident Households

※6 含む居住者家計の海外での直接購入

Including Direct Purchases Abroad by Resident Households

## 2-1. 年次別の実質成長率

Development of Real GDP (Annual)

DATE 2015. 11. 16

前年比  
※1

(2005暦年連鎖価格； 単位：%)

(Chained (2005) yen ; %)

項 目	年度(Fiscal Year)				暦年(Calendar Year)			
	2011	2012	2013	2014	2012	2013	2014	
(再掲) 家計最終消費支出	1.2	1.6	2.5	-3.3	2.1	2.1	-1.4	(id, at \$ I) Consumption of Households
居住者家計の海外での直接購入	-6.5	-1.0	-26.5	-14.5	4.0	-25.9	-15.2	Direct Purchases Abroad by Resident Households
(控除) 非居住者家計の国内での直接購入	-26.8	38.3	35.2	45.9	35.9	30.6	37.8	(Less) Direct Purchases in the Domestic Market by Non-Resident Households
国内家計最終消費支出	1.2	1.7	2.8	-3.0	2.2	2.4	-1.1	Domestic Final Consumption Expenditure of Households
耐 久 財	9.2	1.9	14.3	-11.4	4.0	8.4	-0.1	Durable Goods
半 耐 久 財	4.4	1.6	7.0	-5.8	1.4	6.1	-1.4	Semi-Durable Goods
非 耐 久 財	-2.2	3.2	1.3	-4.5	3.2	1.6	-3.2	Non-Durable Goods
サ ー ビ ス	1.1	1.1	1.3	-0.5	1.5	1.3	-0.2	Services

(再掲) 財貨・サービスの純輸出 ※2	(-1.0)	(-0.8)	(-0.5)	(0.6)	(-0.9)	(-0.3)	(-0.0)	(id, at \$ I) Net Exports of Goods & Services ※2
(再掲) 財貨・サービスの輸出	-1.6	-1.4	4.4	7.9	-0.2	1.2	8.4	(id, at \$ I) Exports of Goods & Services
財貨の輸出	-0.5	-2.0	2.9	6.2	0.1	-0.6	6.7	Exports of Goods
サービスの輸出 ※3	-8.4	2.9	15.2	18.7	-2.5	13.9	19.2	Exports of Services ※3
(再掲) 財貨・サービスの輸入	5.4	3.6	6.7	3.6	5.3	3.1	7.4	(id, at \$ I) Imports of Goods & Services
財貨の輸入	6.8	2.4	7.2	2.3	4.7	3.0	6.7	Imports of Goods
サービスの輸入 ※4	-1.6	10.1	4.3	11.3	8.5	3.4	11.1	Imports of Services ※4

(注) ( ) 内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note. The Figures in ( ) indicate contributions to Changes in GDP.

※1 Changes from the previous year

※2 財貨・サービスの純輸出=財貨・サービスの輸出-財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports Less that of Imports.

※3 含む非居住者家計の国内での直接購入

Including Direct Purchases in the Domestic Market by Non-Resident Households

※4 含む居住者家計の海外での直接購入

Including Direct Purchases Abroad by Resident Households

## 2-2. 年次別の名目成長率

DATE 2015. 11. 16

Development of Nominal GDP (Annual)

前年比  
※1

(単位：%)

項目	年	年度(Fiscal Year)				暦年(Calendar Year)			(%)
		2011	2012	2013	2014	2012	2013	2014	
(再掲) 家計最終消費支出		0.5	0.6	2.8	-1.2	1.2	1.8	0.6	(id, at §1) Consumption of Households
居住者家計の海外での直接購入		-7.0	4.5	-7.1	-6.9	5.4	-5.9	-6.3	Direct Purchases Abroad by Resident Households
(控除) 非居住者家計の国内での直接購入		-26.9	38.0	36.8	51.0	35.9	31.4	42.5	(Less) Direct Purchases in the Domestic Market by Non-Resident Households
国内家計最終消費支出		0.4	0.7	2.9	-0.9	1.3	2.0	0.8	Domestic Final Consumption Expenditure of Households
耐久財		-1.5	-3.4	13.4	-8.8	-1.9	5.5	3.1	Durable Goods
半耐久財		3.0	0.7	7.2	-3.0	0.5	5.9	0.8	Semi-Durable Goods
非耐久財		-0.0	3.4	3.1	-0.8	3.9	2.9	0.5	Non-Durable Goods
サービス		0.6	0.0	0.8	0.6	0.7	0.5	0.6	Services

(再掲) 財貨・サービスの純輸出 ※2	(-2.2)	(-0.9)	(-1.2)	(0.9)	(-1.1)	(-0.9)	(-0.3)	(id, at §1) Net Exports of Goods & Services ※2
(再掲) 財貨・サービスの輸出	-3.9	-0.9	13.3	10.4	-2.2	10.8	11.4	(id, at §1) Exports of Goods & Services
財貨の輸出	-2.8	-1.7	11.9	8.4	-2.0	9.0	9.6	Exports of Goods
サービスの輸出 ※3	-11.0	4.9	23.1	22.8	-3.4	23.7	22.9	Exports of Services ※3
(再掲) 財貨・サービスの輸入	11.2	4.5	18.8	3.9	4.7	15.2	11.4	(id, at §1) Imports of Goods & Services
財貨の輸入	14.0	3.6	19.5	1.9	4.5	15.5	10.5	Imports of Goods
サービスの輸入 ※4	-3.1	9.9	14.4	15.8	6.0	13.7	16.5	Imports of Services ※4

(注) ( )内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note. The Figures in ( ) indicate contributions to Changes in GDP.

※1 Changes from the previous year

※2 財貨・サービスの純輸出=財貨・サービスの輸出-財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports Less that of Imports.

※3 含む非居住者家計の国内での直接購入

Including Direct Purchases in the Domestic Market by Non-Resident Households

※4 含む居住者家計の海外での直接購入

Including Direct Purchases Abroad by Resident Households

### Ⅲ. 1次速報から2次速報への主な改定要因

次回の2015（平成27）年7-9月期2次速報においては、通常の1次速報から2次速報への改定に加え、平成25年度確々報及び平成26年度確報を反映する。

このほか、今回の1次速報発表後に、推計に用いる基礎統計の入手などにより、2次速報において改定される需要項目の主要なものは以下のとおり。

#### <原系列>

##### ○ 民間企業設備

1次速報：供給側基礎統計の情報に基づいて推計

2次速報：『四半期別法人企業統計』（財務省）等により推計される需要側推計値と供給側推計値を統合して推計（なお、供給側推計値も、基礎統計の欠落月値の入手、確報化により、改定される。）

##### ○ 民間在庫品増加

製品在庫、仕掛品在庫、原材料在庫、流通在庫の4形態の在庫のうち、

1次速報：仕掛品在庫、原材料在庫については、1次速報段階では、季節調整の際に利用しているARIMAモデルにより名目及び実質原系列を推計

2次速報：仕掛品在庫、原材料在庫については、『四半期別法人企業統計』により推計（なお、製品在庫、流通在庫も基礎統計の確報化等により、改定される。）

##### ○ 基礎統計の欠落月値入手、確報化等による改定

1次速報：基礎統計の欠落月値については、補外推計。また、基礎統計の確報値が入手できない場合は、速報値を用いて推計（3カ月目の『国際収支統計（速報）』の公表日までに公表された基礎統計を利用可能な範囲で用いて推計）

2次速報：1次速報段階における基礎統計の欠落月値が入手できた場合は、補外推計値から置き換えて、また、確報化または遡及改定がなされた場合は、速報値から置き換えて推計（当該四半期の『四半期別法人企業統計』の公表日までに公表された基礎統計を利用可能な範囲で用いて推計）

#### <季節調整系列>

四半期の季節調整系列については、上記により改定される原系列を含めて季節調整をかけなおすため、名目、実質ともに、1994（平成6）年1-3月期まで遡って改定される。

なお、2015（平成27）年7-9月期2次速報においては、季節調整モデル及び異常値設定について、原系列の改定を踏まえ見直しを行う。

#### IV. その他の留意事項

##### (1) 基礎統計の遡及改定等の反映

今回の1次速報においては、基礎統計の追加入手等を踏まえた通常の改定を行っている。そのほか、以下に示す基礎統計の遡及改定等に対応して、所要の改定を行った。

改定された基礎統計	速報推計における遡及期間	公表時期	改定される推計
生産動態統計	2013年1-3月期まで	2015年10月	供給側推計
企業物価指数	2013年1-3月期まで	2015年10月	供給側推計 デフレーター推計
企業向けサービス価格指数	2014年1-3月期まで	2015年9月	供給側推計 デフレーター推計
国土交通月例経済	2015年1-3月期まで	2015年11月	供給側推計

##### (2) 2015（平成27）年7-9月期1次速報における民間在庫品増加の4形態別計数について

2015年7-9月期1次速報における民間在庫品増加の4形態別計数（実質季節調整系列：年率表示）は以下のとおり。

（単位：10億円）

	2014/ 7-9	10-12	2015/ 1-3	4-6	7-9	2015/7-9 実質 GDP 成長率に対 する寄与度(%)
民間在庫品増加	▲1,775.4	▲2,973.2	▲572.6	664.8	▲1,829.7	▲0.5
製品在庫	43.3	▲126.0	▲614.3	707.3	112.8	▲0.1
仕掛品在庫	190.1	▲985.4	▲583.0	▲736.0	▲800.1	▲0.0
原材料在庫	4.5	▲16.9	626.5	547.1	30.0	▲0.1
流通在庫	▲2,022.3	▲1,881.7	▲101.5	111.3	▲1,188.2	▲0.3

##### (3) 2015（平成27）年7-9月期1次速報の民間企業設備の推計過程で用いた供給側推計値及び需要側推計値について

2015年7-9月期1次速報における2015年7-9月期の民間企業設備の推計過程において、供給側基礎統計の情報に基づいて算出した供給側推計値は名目原系列前期比▲1.5%、また、供給側推計値の情報を用いて仮置きした需要側推計値は名目原系列前期比11.5%となっている。

## V. 今後の四半期別 GDP 速報等の公表予定

2015（平成 27）年 7-9 月期 2 次速報値の公表予定

2015（平成 27）年 12 月 8 日（火）8 時 50 分

2015（平成 27）年 10-12 月期 1 次速報値の公表予定

2016（平成 28）年 2 月 15 日（月）8 時 50 分

2015（平成 27）年 10-12 月期 2 次速報値の公表予定

2016（平成 28）年 3 月 8 日（火）8 時 50 分

2016（平成 28）年 1-3 月期 1 次速報値の公表予定

土日・祝日を除き、①「鉱工業生産・出荷・在庫指数（速報）」（2016 年 3 月分）の公表日から 10 日後、②「貿易統計（輸出確報）」（2016 年 3 月分）の公表日の 10 日後又は③「消費者物価指数」（2016 年 3 月分）の公表日から 11 日後のいずれかの中で、最も遅い日付までに公表。（8 時 50 分）（具体的な日程については公表日の 10 日前までにホームページ上に掲載する。）

2016（平成 28）年 1-3 月期 2 次速報値の公表予定

2016（平成 28）年 6 月 8 日（水）8 時 50 分

なお、上記の公表予定は現時点の予定であり、今後、基礎統計の公表予定の変更等により、変更する可能性がある。